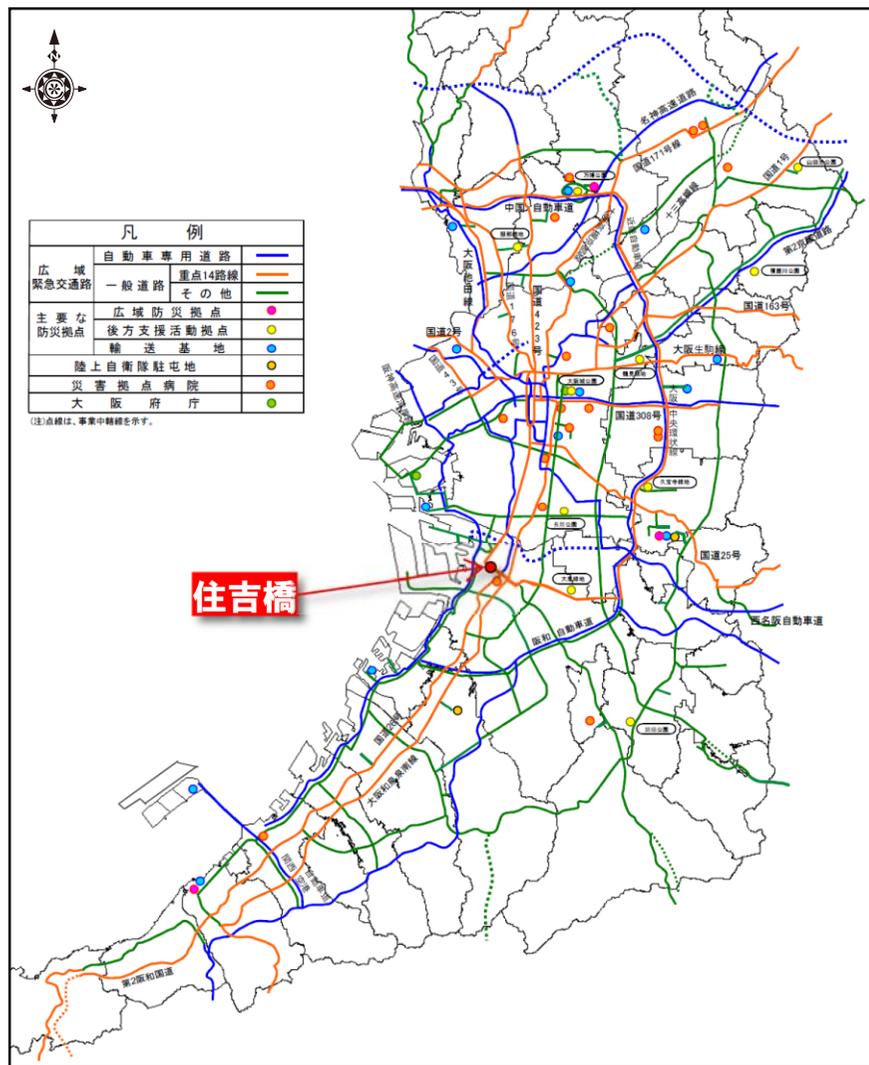


■ 路線の特性その1 (重要な緊急輸送道路)

・住吉橋が架かる国道26号は、「広域緊急交通路」の内、発災直後の応急対策にあたる緊急車両の通行を最優先で確保する「重点14路線」のひとつとなっています。大規模災害発生時でも全線で車両が通行出来るような機能を確保する必要があります。

■ 大阪府における「広域緊急交通路」



■ 「緊急交通路」の道路構造物について耐震対策の推進

府、近畿地方整備局をはじめ土木構造物の管理者は、自ら管理する構造物について、次の方針で耐震対策等を推進する。

1 基本的考え方

- (1) 施設構造物の耐震対策にあたっては、
 - ア 供用期間中に1～2度発生する確率を持つ一般的な地震動
 - イ 発生確率は低いが直下型地震又は海溝型巨大地震に起因する高レベルの地震動を共に考慮の対象とする。
- (2) 施設構造物は、一般的な地震動に対しては機能に重大な支障が生じず、また高レベルの地震動に対しても人命に重大な影響を与えないことを基本的な目標とし、府の地域的特性や地盤特性、施設構造物の重要度に応じた耐震対策を実施する。
- (3) 防災性の向上にあたっては、個々の施設構造物の耐震性の強化のほか、代替性や多重性を持たせるなど都市防災システム全体系としての機能確保に努める。
- (4) 既存構造物の耐震補強にあたっては、地震防災上重要な施設から耐震対策を実施する。
- (5) 埋立地、旧河川敷等の軟弱地盤に設置された構造物については、液状化対策にも十分配慮する。

3 道路施設

道路橋・高架道路・モノレール等の耐震対策を実施する。
特に、緊急交通路の管理者は、耐震診断に基づき補強計画を策定し補強対策を実施する。

(出典)「大阪府地域防災計画(H29.3)」

● 広域緊急交通路 (府選定) (出典:「大阪府地域防災計画(H29.3)」)

- ア 府県間を連絡する主要な道路
- イ 府域の広域防災拠点、後方支援活動拠点、陸上・海上・航空輸送基地などを連絡する主要な道路及び接続道路
- ウ 各府民センタービル、市町村庁舎など市町村の輸送拠点及び災害拠点病院を連絡する主要な道路及び接続道路
- エ 津波による沿岸部の被災を考慮した、内陸部から沿岸部への櫛の歯型のアクセス道路

(出典)「大阪府地域防災計画 関連資料集 平成27年修正」

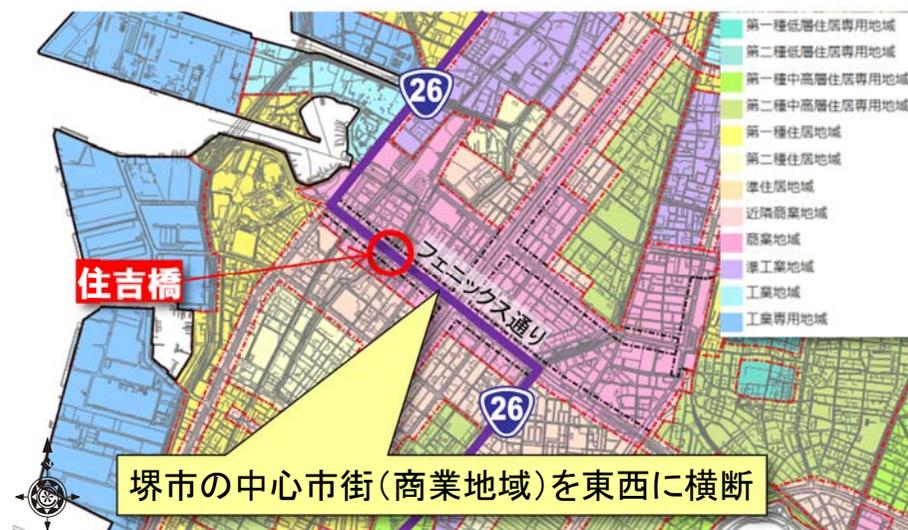
■ 路線の特性その2 (堺市の中心を横断するシンボルロード)

・住吉橋が架かる当該区間は、堺市中心市街を東西に横断する広幅員で交通量が多い幹線道路であり、「フェニックス通り」の愛称で親しまれている道路です。日本の道100選にも選定された市のシンボルロードとしても重要な路線となっています。

■ 堺市中心部の東西方向幹線道路の道路部幅員・車線数・交通量



■ 「フェニックス通り」周辺の用途地域



● 日本の道100選 (出典: 国土交通省HP)

「道の日」制定(昭和61年度)を記念し、日本の特色である優れた道路を選定・顕彰することによって、道路の意義・重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高める。

◇ フェニックス通り(昭和61年度選定)

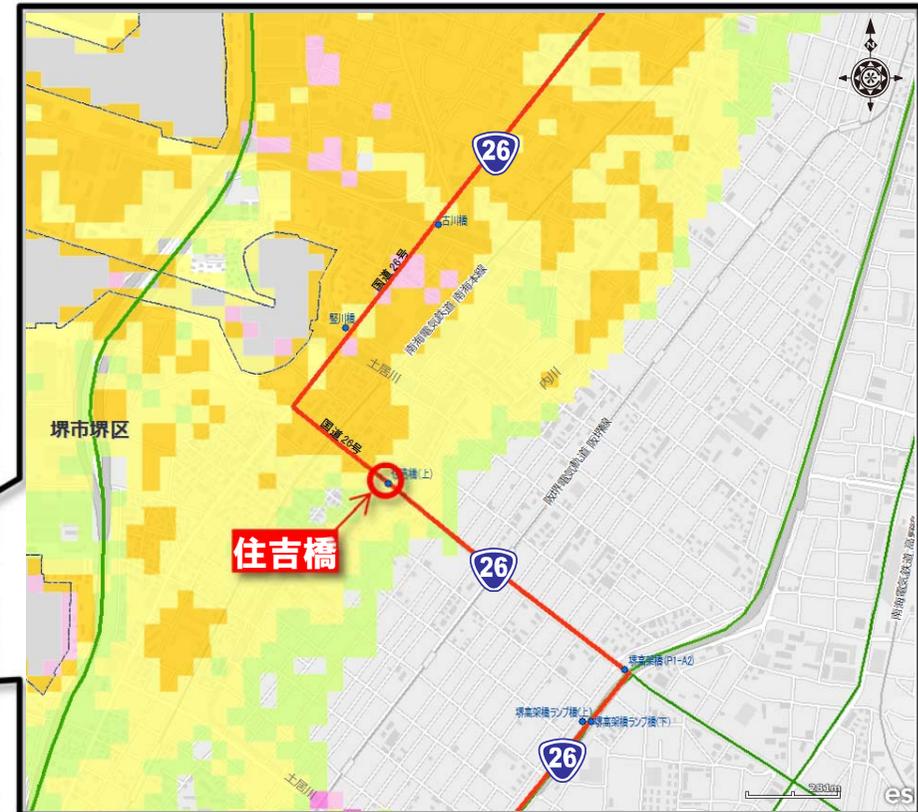
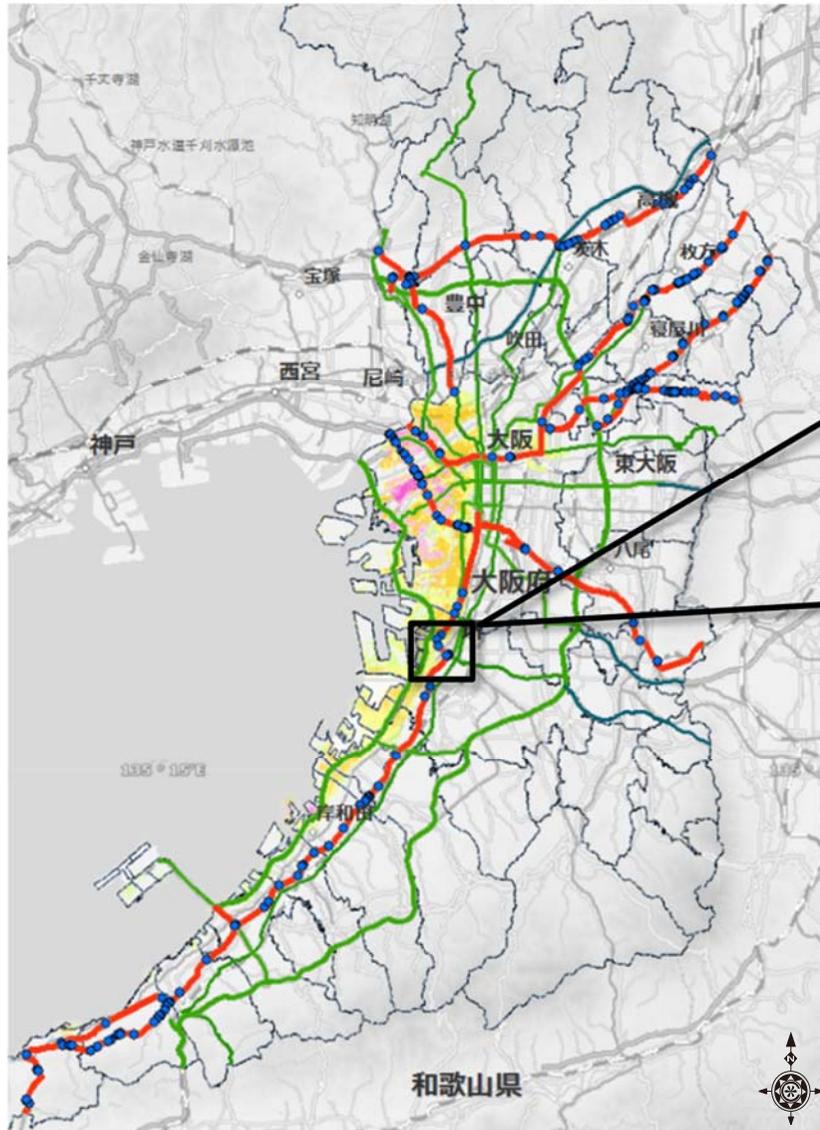
『戦災復興土地区画整理事業で整備された、堺市を代表する道路です。終戦で沈滞した市民の気持ちを、少しでも盛り上げるためにフェニックスをはじめ、数多くの街路樹が植えられました。この道は、人々の生活にうるおいを与え、地域の内外から親まれ、愛される道路として、このたび「日本の道100選」に選ばれました。』(出典: 現地プレート)



南海トラフ大地震時の津波浸水エリア

- ・住吉橋が架かるエリアは、南海トラフ大地震時の津波により浸水深さが0.3～1.0mとなると予測されています。
- ・堺市津波避難計画では国道26号の住吉橋が架かる当該区間が東西方向への避難路として指定されています。

■南海トラフ大地震時の大阪国道事務所管内津波浸水エリア



凡例 浸水深 (50mメッシュ)

Avg_Dmax
0.01 - 0.30
0.30 - 1.00
1.00 - 2.00
2.00 - 3.00
3.00 - 4.00
4.00 - 5.00
5.00 - 6.00

出典:大阪府危機管理室